

平成26年10月8日

保護者の皆様

川崎市立高津中学校
校長 河野 勝彦

平成26年度全国学力・学習状況調査結果の概要等について

秋冷の候、皆様にはますますご清祥のことと拝察いたします。日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

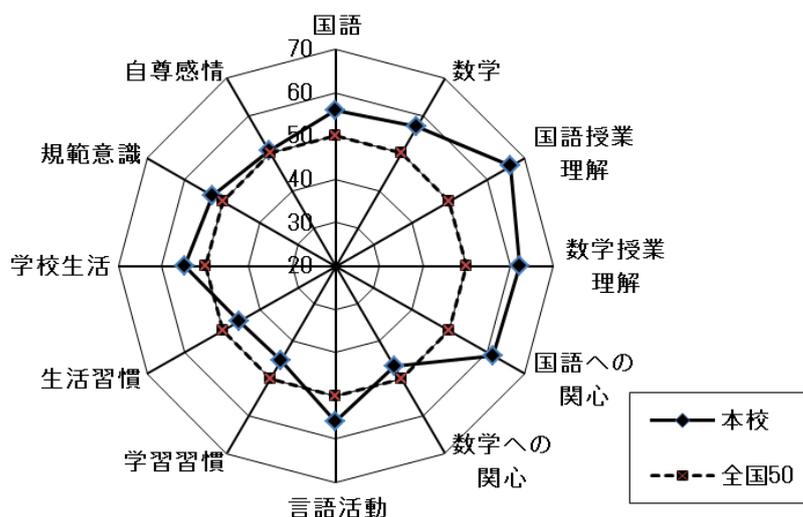
さて、4月22日（火）に3年生を対象に実施した標記調査の本校の調査結果の概要と、次年度に向けた取組等について報告いたします。今回の調査結果等を踏まえ、今後も生徒の皆さん一人一人の学習状況の改善、主体的な学習態度や豊かな心の育成等に努めてまいります。

なお、調査の実施要領には、「本調査によって測定できるのは学力の特定の一部であり、学校の教育活動の一側面である」と示されていることから、本資料は、「本校の教育活動の成果と課題を把握するための一つの指標」としてお考えいただきたいと存じます。

調査結果の概要

1 教科の調査

- ①国語の「話すこと、聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の4領域、数学の「数と式」「図形」「関数」「資料の活用」の4領域の平均正答率は、全国に比べてすべて上回っていることから、本校の結果は全体的に良好な状況にあります。



*全国結果を50とし、それに対する本校の結果を表しています。

- ②その一方で、全国に比べて上回ってはいるものの、「活用」の問題を中心に正答率が50%未満の問題や、無解答率が高い問題があることから、基礎的・基本的な知識及び技能を活用する力に課題があることがうかがえます。

2 教科に関する意識調査

- ①国語については、授業の理解度と関心等が、いずれも高い状況にあります。
 ②数学については、授業の理解度は高いものの、関心等が低いという課題があります。
 ③全国に比べて、家庭学習の習慣(宿題や復習への取組等)に課題があることがうかがえます。

3 生活習慣や意識等に関する調査

- ①全国に比べて、「早寝・早起き・朝ごはん」の定着に課題があることがうかがえます。
 ②学校に行くのが楽しいと思っている生徒の割合は全国を上回り、良好な状況にあります。
 ③規範意識や自尊感情等については概ね良好な状況にあるものの、「いじめに対する考え方」「自分のよさの認識」「将来の夢をもつこと」等の回答傾向には課題がみられます。

国語

【話すこと、聞くこと】

◇良好な状況と考えられるもの ◆課題があると考えられるもの

- ◇A問題の問1「報告の内容を踏まえた質問として適切なものを選択する」、問6「話し合いの方向を捉えた司会の役割として適切なものを選択する」については、正答率がいずれも8割を超えており、良好な状況にあります。
- ◆A問題の問6「二人の発言を聞いて、意見の相違を整理する」の正答率は60.2%と低く、課題があります。話し合いの目的を踏まえた上で、観点に沿って発言を整理する活動等を取り入れながら改善を図ります。

【書くこと】

- ◇A問題の6問の平均正答率が88.9%と大変高い状況にあることから、「書くこと」の領域の基礎的な知識は十分に身に付いていると考えています。
- ◆B問題の問2「水の中に浸すと、切手をきれいにはがすことができる理由を書く」、問3「なぜ落語をそのように演じるのかを、本文を根拠に殿さまの気持ちを想像して書く」の正答率が、それぞれ30.5%、45.3%と低いことから、記述式問題に課題があることがうかがえます。

【読むこと】

- ◇A問題の5問の平均正答率が89.1%と大変高い状況にあることから、「読むこと」の領域の基礎的な知識は十分に身に付いていると考えています。
- ◆B問題の問2「本とインターネットの内容を比較したときの説明として適切なものを選択する」の正答率は35.2%と低く、課題があります。目的に応じて文章の要旨を的確に捉える活動等を取り入れながら改善を図ります。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

- ◇A問題の問8「文脈に即して漢字を正しく読む」の3問の平均正答率が94.1%であること、問8「語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う」の7問のうち5問の正答率が9割を超えていることなどは、良好な状況と考えています。
- ◆A問題の問8「文脈に即して漢字を正しく書く」のうち、「半径（ハンケイ）」の正答率が49.2%と低く、他の2問の無解答率も9.4%と、比較的高い状況にあります。漢字の字形や画数、読みや意味などの基本的な事項を確実に指導しながら改善を図ります。

【国語に関する意識等】（ ）は全国の回答率

- ◇「国語の授業がよく分かる」と回答した割合は41.4%(22.6%)、「どちらかといえば」までを含めると88.3%(72.0%)と、全国に比べて良好な状況にあります。
- ◇「どちらかといえば」までを含めると、国語の「勉強が好き」が75.8%(58.2%)、「勉強は大切」が98.4%(89.0%)、「学習したことが将来役に立つ」が91.4%(82.5%)と、国語に関する関心等についても、全国に比べて良好な状況にあることがうかがえます。

次年度に向けた取組

次年度も、今年度と同様に「4領域の平均正答率が全国に比べてすべて上回る状況」と「国語の授業の理解度や関心等が高い状況」をめざし、指導方法の更なる工夫・改善に努めます。特に、B問題の記述式の問題については、条件作文を書く指導等を継続的に授業に取り入れながら、伝えたい事柄や根拠を明確にして自分の考えを書く力の育成を図り、平均正答率が50%(今年度は44.5%)を上回ることをめざします。

数 学

【数と式】

- ◇A問題の12問の平均正答率が85.2%と大変高い状況にあることから、「数と式」の領域の基礎的な知識・技能は十分に身に付いていると考えています。
- ◆B問題の問2(3)「2つの偶数の商についての正しい記述を選び、その理由を説明する」の正答率56.3%と低く、課題があります。事例が成り立つかどうかを判断し、その理由を説明する活動等を取り入れながら改善を図ります。

【図形】

- ◇A問題の問4(1)「線対称な図形を完成する」、B問題の問1(2)「外から校舎を見た図で、案内図に示された非常口の位置を選ぶ」については、正答率がいずれも9割を超えており、良好な状況にあります。
- ◆B問題の問4の(1)「2つの線分の長さが等しいことを証明する」の正答率が40.6%、無解答率が17.2%であること、(2)「証明された事柄を用いて角度を求める」の正答率が29.7%、無解答率が27.3%であることから、図形の証明と証明された事柄を活用することに課題があることがうかがえます。

【関数】

- ◇B問題の問3(1)「与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取る」の正答率は93.0%と高く、良好な状況にあります。
- ◆A問題では、問9「関数の意味を理解して表現する」、問10(4)「反比例のグラフから表を選ぶ」の正答率が、それぞれ39.1%、43.9%と、低い状況にあります。また、B問題では、問6(3)「グラフから速さを求める方法を説明する」の正答率が43.0%と低いことについては、問題解決のために数学を活用する方法を考え、説明できるようにする活動等を取り入れながら改善を図ります。

【資料の活用】

- ◇A問題の問14(1)「実験結果から確率を求める」、B問題の問5(1)「樹形図を利用して得点を求める」の正答率は、いずれも8割を超えており、良好な状況にあります。
- ◆B問題の問5(2)「正しい記述の理由を、確立を使って説明する」の正答率が34.4%と低く、課題があると考えています。起こり得る場合を分類整理する活動等を取り入れながら改善を図ります。

【数学に関する意識等】()は全国の回答率

- ◇「数学の授業がよく分かる」と回答した割合は47.7%(33.0%)、「どちらかといえば」までを含めると83.6%(71.5%)と、全国に比べて良好な状況にあります。
- ◆「どちらかといえば」までを含めると、数学の「勉強が好き」が53.1%(56.6%)、「勉強は大切」が71.1%(82.1%)、「学習したことが将来役に立つ」が56.3%(71.4%)と、数学に関する関心等については、全国に比べて低い状況にあります。

次年度に向けた取組

次年度も「4領域の平均正答率が全国に比べてすべて上回る状況」をめざします。特に、図形の証明や証明された事柄を用いる問題については、証明の構想において方針を立てる指導や証明の過程で発展的に考える指導等を重視し、正答率と無解答率のいずれも今年度より5ポイント程度の改善をめざします。また、身近な題材を取り入れることで数学の有用性を実感させる等の取組を通して、数学に関する関心等の数値の向上に努めます。

学習・生活習慣や意識に関する調査

【言語活動】

- ◇「友だちと話し合うとき、話や意見を最後まで聞くことができる」と回答した割合は 93.0% (92.2%) と、良好な状況にあります。
- ◆「自分の考えを発表することができる」「自分の考えを説明したり、文章に書いたりすることができる」と回答した割合は、それぞれ 56.3% (48.6%)、37.5% (32.7%) と低いことから、自分の考えや意見を相手に伝えることに課題があると考えています。話し合い活動や、自分の考えを文章にまとめる活動等を充実させながら改善を図ります。

【学習習慣】

- ◆全国に比べて学校以外での学習時間は多いものの、同時に通塾率も高い傾向があることから、家で「宿題をしている」「復習をしている」と回答した割合が、それぞれ 76.5% (88.2%)、34.4% (50.4%) と全国に比べて低くなっており、学校の授業に関連した家庭での学習時間が少ない傾向がうかがえます。

【生活習慣】

- ◆「朝食を毎日摂る」は 75.8% (83.8%)、毎日同じ時刻に「就寝する」「起床する」は、それぞれ 23.4% (29.4%)、46.1% (55.8%) であることから「早寝・早起き・朝ごはん」の定着に課題があります。今後も家庭との連携を図り、規則正しい生活習慣の確立に努めます。

【学校生活】

- ◇「学校に行くのは楽しい」と回答した割合は 52.3% (46.2%) で、「どちらかといえば」までを含めると 86.7% (82.4%) となり、良好な状況にあると考えています。

【規範意識】

- ◇「学校の規則を守っている」「友だちとの約束を守っている」と回答した割合は、それぞれ 96.1% (93.0%)、98.5% (91.7%) と、良好な状況にあります。
- ◆「いじめは、どんなことがあってもしてはいけない」と回答した割合は 65.6% (72.1%) と、全国に比べて 6.5 ポイント下回っています。

【自尊感情】

- ◇「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある」と回答した割合は、95.3% (93.9%) と、良好な状況にあります。
- ◆「自分にはよいところがある」「将来の夢や目標をもっている」と回答した割合が、それぞれ 60.9% (67.1%)、69.5% (71.4%) と低いことは、課題として捉えています。

次年度に向けた取組

道徳教育や人権尊重教育、キャリア・在り方生き方教育等の一層の充実を図ることで、「いじめは絶対に許されないと考える生徒」「自分のよさを認識できる生徒」「将来の夢や目標をもつ生徒」の割合が、全国と同程度になることをめざします。

教育委員会より

高津中学校は、「生徒が主役の学校づくり」を目指して、授業、行事、部活動など様々な場面で生徒の自主性・主体性の育成に取り組んできています。今回の調査では、基礎的・基本的な知識や技能の習得だけでなく、それらを活用して問題を解決する力の育成に重点を置いて授業改善に取り組んできた成果が結果として現れています。 高津区・教育担当